

田中 じゅんじ

前尼崎市議会議員



〒660-0052 尼崎市七松町1-13-23 ダイヤビル202
 TEL: 090-1225-2046 FAX: 020-4624-9011 Mail: tanakajunzi@yahoo.co.jp

発行: 田中淳司と旬政クラブ (田中じゅんじを応援する会)



LINE QR

田中じゅんじ Facebook QR

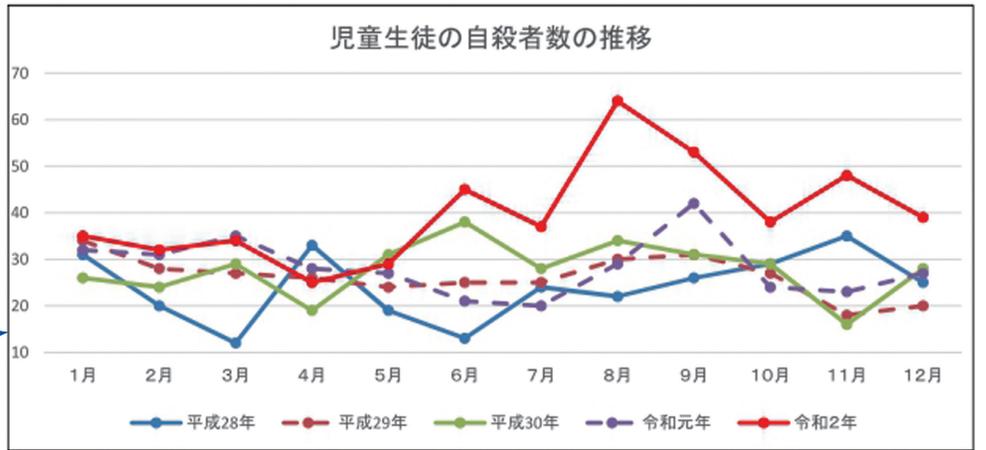
コロナ禍の被害者 女性や子ども達を尼崎市はどう守る？

■日本国内で初めて新型コロナの感染者が確認されたのは2020年1月16日。マスコミ等では新型コロナの**国内感染者(陽性者)①**と**死者数②**を、この日から累計して報じる事がありますが、年間での確定数は**①31万5910人、②4380人(20歳未満の子どもはゼロ)**です。この1年間、感染症そのものの脅威のみならず、経済的損失や社会関係の制限等を通じて、生活のあらゆる側面に影響を与えており、それらの帰結の一つに自殺リスクが高まることを危惧していました。

■2020年の年間自殺者総数は2万919人と11年ぶりに増加し、同年7月から10月までのいわゆる第2波の間、自殺率が前年同期比で16%増加、特に女性は37%の増加で男性の5倍、特に20未満の子どもは49%の増加となりました。

2020年7月以降
女性全体の自殺率
前年比
約40%増

20歳未満の
子ども全体の自殺率
前年比
約50%増



児童生徒の月別自殺者数の総数(小・中・高)

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成28年	31	20	12	33	19	13	24	22	26	29	35	25	289
平成29年	34	28	27	26	24	25	25	30	31	27	18	20	315
平成30年	26	24	29	19	31	38	28	34	31	29	16	28	333
令和元年	32	31	35	28	27	21	20	29	42	24	23	27	339
令和2年	35	32	34	25	29	45	37	64	53	38	48	39	479

また、自粛要請は、女性が多く働く飲食業や小売業などの対面型サービスを直撃し、女性の雇用は一時、最大74万人(男性の倍以上)が失われました。

仕事を失った女性
74万人
男性 **32万人**

(総務省「労働力調査」よりNHKが算出2020.4月)

厚労省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」(暫定値)を基に文科省において作成

政府はこの惨状を放置？

■田中は2020年11月18日、新型コロナ禍の影響による生活困窮者等にむけ、尼崎市役所が年末年始も相談体制を継続し、市民に寄り添う対応を求める要望書を作成し尼崎市長に提出*しました。(※地域政党 みどりの未来・尼崎として)

新型コロナ禍の経済的打撃に対し諸外国では、まず減税と所得補償を行うために財政規律(歳入と歳出のバランスを保つこと)を凍結し、所得の約8割を保障したこと等により、家計消費などの回復を果たした国もあります。一方、日本は経済的損失には無策のまま、特措法、感染症法を改正し、同法に従わない事業者や感染者等に50万円以下などの懲罰(過料)を科すことを決めました。いわゆる第3波の経済的影響等はこれから現れてきます。国を待たずに、尼崎市として責任をもって困窮した市民を支える強いメッセージと施策を展開し、市議会としても無駄づかいを無くし、議員報酬等を大幅に減額して、持続的に市民支援の財源に充て、決議や意見書等をもって、国へ弱者救済を軸にしたビジョンを示すよう迫る必要があります。【田中じゅんじ】

自殺を防ぐために覚えておきたい「TALKの原則」

TALKの原則

T 自殺願望を打ち明けられたら、心配していることを言葉にして伝える=Tell

A 「死にたい」という気持ちの有無について、相手に率直に尋ねる=Ask

L 否定的な言葉はNG。「死にたいほどつらい」相手の気持ちを傾聴する=Listen

K 独りにしないなど物理的な安全を確保し必要な対処につなぐ=Keep safe

(日本臨床救急医学会「救急外来(ER)・救急科・救命救急センターのスタッフのための手引き」他より抜粋)

つらいな...と思ったら

尼崎市相談機関紹介QRコード

2017年尼崎市議選 選挙公費助成請求額ワースト5

■市議立候補者にはポスター代など、選挙費用の一部が公費から助成されます。公費助成請求額が多いワースト5は表のとおりです。田中の公費助成請求額は36万4024円。見積もりあわせ等を行うことで、公費請求額は減らすことができます。こうしたことから税金に対する候補者の姿勢が見えてきます。【田中じゅんじ】

順位	候補者名	公費請求額
1位	楠村信二(維新)	77万9898円
2位	長崎ひろちか(維新)	77万4694円
3位	小西いつお(志誠)	77万4694円
4位	岸田光広(志誠)	77万3450円
5位	松岡ようじ(現 維新)	69万6163円

※故人は除く

市民と議会を結ぶ情報誌

ほうれん草通信

を発行している
兵庫県議会議員
丸尾まきです



田中じゅんじさんの 再チャレンジを 応援します!!

- 田中じゅんじさんは、オンブズ活動だけでなく、「春えん」「秋えん」などのJR立花駅前の賑わい、まちづくり活動への参加、難病患者団体等の支援などを行ってきました。オンブズ活動では、焼却炉建設談合をした企業から利子を含め約5億円を市当局に返還させ、市議会政務活動費の支出においては、2会派から政務活動費の広報紙代の返還を求める判決を勝ち取りました。
- ひとつの課題に取り組むと、トコトン特定の課題を突き詰めていくのも田中さんの強みです。その田中さんのいなくなった後の議会は、緊張感が足りず、議会改革の意欲もあまり感じません。市議会の中でも、しっかり調査・発言し、様々な問題提起をしてきた田中さん。そんな田中じゅんじさんの再チャレンジを応援します。

コロナ対策で教室の窓全開 凍える子ども達は防寒着ダメ？

■今冬、市内各学校の教室等では窓を開け、換気する感染症対策が実施されました。その中で「授業中、教師に寒いと伝えてもジャンパーなどを着させてもらえない」との相談があり、SNSなどでの調査を通じて複数校で同様の事例があることを把握しました。市教委に問い合わせたところ文科省の衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」を参考にしているとのことでした。当該マニュアルには「学校での常時換気が必要である」旨が記載されていましたが、一方で生徒・児童の免疫力を高める必要性も記載されていました。そこで田中は、子ども達が寒と感じれば防寒着等の着用を認めるよう求める申し入れ書を作成し、尼崎市教委に提出*しました。

(※地域政党 みどりの未来・尼崎として)

■滋賀県では生徒・児童の実情を知るためのアンケートを実施し、3万1320人の子どもからの回答をもとに、子ども版・新しい行動様式「すまいる・あくしょん」をスタートしました。アンケート回答には「マスクがくるしい」、「おばあちゃんの家にいきたかった」など、どの地域の子どものにもあてはまる感想が記入されています。尼崎市においても同様に、子ども達の声の聴き活かし取り組みを早急に行うべきです。なお、常識的にオカシイと感じても、保護者が学校へ意見しにくい場合もあると思います。どうか田中へお気軽にメール、LINEなどで教えて下さい。情報源は明かさず必要に応じて必ず動きます。

【田中じゅんじ】



田中じゅんじ プロフィール

1974年7月11日尼崎市生まれ 血液型O型
 慈愛幼稚園、七松小、日新中、(現) 関西大学北陽高卒業
 2008年～兵庫県議会議員丸尾まき所属会派職員
 2009年～2017年：尼崎市議会議員(阪神水道企業団議会議員、
 兵庫県競馬組合議会議員、尼崎市男女共同参画審議会委員、
 尼崎市社会保障審議会専門委員等を歴任。
 ひょうご防災リーダー、防災士、介護士、尼崎市消防団七松分団所属、
 立花にぎわい創生実行委員会事務局、市民オンブズ尼崎代表世話人
 2012年丸尾まき県議らと尼崎初の地域政党「みどりの未来・尼崎」を結成

二連ポスター掲示にご協力を!



田中じゅんじの活動支援カンパのお願い

振込先

口座番号：00960-6-233743
 口座名義：タナカジュンジトジュンセイクラブ
 (郵便局の払込取扱票をお使い下さい)